

紙芝居連続講座 in 都城

久保田哲寛

私達は二〇一五年に会設立、「都城地域に紙芝居を広げたい」との想いで、幼児や園児、小学生、高齢者等の施設を訪れ、紙芝居上演に励んでおります。観客の反応は、「テレビやゲームと違い、読み手の気持ちが変わる、向き合いながらやるのがよい」等です。

私達は同時に紙芝居文化の会に入会し、いつか全国大会をやりたいが、まずは紙芝居講座で酒井代表等講師を都城に呼びたいと夢を膨らませました。そして、びつくりするような朗報が飛び込み、「連続講座の開催」が決定したわけでした。会設立から丸三年、とても有難い、力のこもる出来事でした。

紙芝居連続講座は、第一回が十二月酒井京子講師、第二回一月は日下部茂子講師、最終回二月は松井エイコ講師に来て頂きました。講義と共に「演じてみよう紙芝居」で二十一人が指導を受けました。紙芝居が皆の心の中にとっても深く入っていき、その奥深さに感動と畏敬の念を感じたというのが総括意見でありました。主な感想を少し紹介しますと、「基本や作品に込められた想いの理解がとても大切と知り勉強になった、一作品一作品大切に伝えていきたい、観客を信じ紙芝居を読み続けたい、観客とのコミュニケーションがとても大事、我流になっていた」等々です。この講座で当会の一つの方向性、道筋が見えました。

(紙芝居まねきねこの会代表)

2018年 紙芝居連続講座 in 都城 2018年12月16日、2019年1月20日、2月16日
講師 酒井京子、日下部茂子、松井エイコ

